

株式会社アジチファーム

福井県福井市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

3000年の歴史がある水稻栽培と、30年で大きな進展を遂げたITを融合し、福井県から国内外に発信

- 2017年ベトナム・ナムディン省にて会社設立、米生産加工販売を一体展開
- 日本ブランドを「もの」ではなく、「技術」で輸出するビジネスモデル
- 国産米麺を活用した新しいベトナムフォー麺文化の開発、商品展開

企業基本情報

所在地	福井県福井市黒丸町 10-16-1
電話/FAX	0776-89-1825/0776-89-1826
URL	www.ajichi.jp
代表者	代表取締役 伊藤 武範
設立	2009年
資本金	990万円
従業員数	28人



会社概要

福井県にて米を中心とした農業生産と直売所/食堂を運営する農業法人であり、また、同社で生産した米を使った米粉加工品として、米粉を使ったパンや、ピザ、米麺を直売所で販売。食堂経営を一体的に行う6次産業化を積極的に推進している。ベトナム現地法人との合併会社を設立し、福井県産の種もみを輸出するとともに、日本品種の米を生産し、販売拡大を行っている。



会社イメージ

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 2017年ベトナムにて会社設立、米生産加工販売を一体展開

ベトナム・ナムディン省知事との面談を通じて、同省において農地約400ヘクタールを有する現地農業法人と合併会社を設立。種もみを輸出しつつ、現地にて日本米を栽培。日本で取り組んでいる6次産業化のビジネスを早期に展開するため、2017年には、ナムディン省にて収穫し販売。ハノイ、ホーチミン、ダナンの飲食店への販路を多数獲得した。2018年は200ha(1000t)の米の栽培を拡充する計画。



ベトナムでの活動

▶▶▶ 日本ブランドを「もの」ではなく、「技術」で輸出

日本からベトナムへの米の輸出には、莫大な輸出コストが生じるとともに、現地での価格競争等から、継続的なビジネスモデルの作成には問題があった。

同社は、ベトナム現地法人との合併会社を設立し、福井県産の種もみを輸出するとともに、現地にて日本品種の米を生産。その米そのものを活用した「おにぎり」を販売しつつ、米の加工品である米粉パン、米粉ピザなど、ベトナムにおける6次産業化を積極的に推進。今後急成長が見込まれるベトナムにおいて「もの」ではなく、「技術」にて進出する革新的なビジネスモデルを展開している。



福井県産の種もみをベトナムで生産

▶▶▶ 国産米麺を使った新しい麺文化の開発、商品展開

ベトナムフォー用の麺として国産米を使った米麺の製造を行い福井県内の自社直売所・農家レストランにて2017年7月より販売を開始。全国からの視察も多く、麺特性の良い米麺の普及を図り、今後大規模作付けを行う予定。また、ペルー、メキシコなど南米諸国への売り込みを開始し、国産米麺の製造加工、海外への輸出を拡大し、日本の圃場の有効活用、中山間地の圃場の耕作放棄の防止、環境保存への貢献と幅広く農業文化の維持促進に努めることを積極的に実施。



同社が製造した米麺